

議会だより

あやがわ

ご卒業おめでとうございます

綾上小学校卒業式（令和2年3月17日）

定例会・補正予算・審議結果

2～6P

委員会報告

7～11P

一般質問

12～21P

傍聴記

22P

2020

No. **56**

令和2年4月22日
香川県綾川町

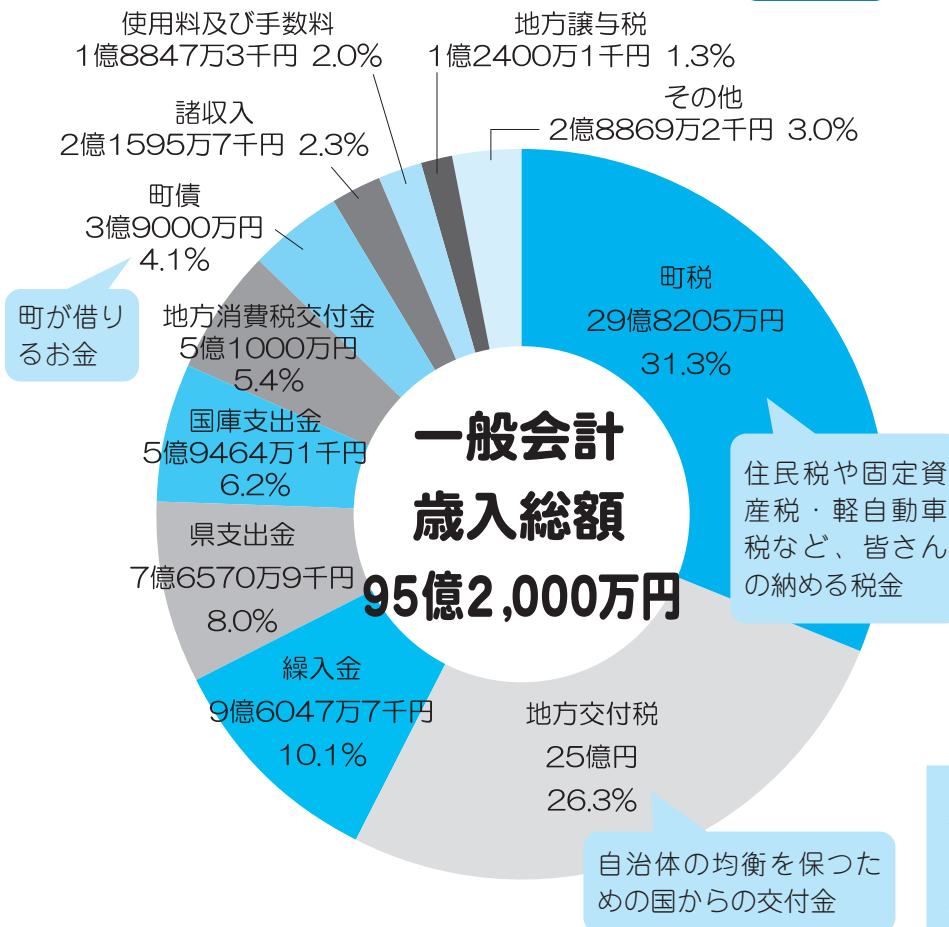


綾川町議会ホームページ

当初予算

前年度比 **6.1%** 減

財 源



特 別 会 計

会 計 名	予 算
町 営 バ ス 運 送 事 業	6,019万2千円
国 民 健 康 保 険	32億2,515万4千円
診 療 所	1億8,619万3千円
後 期 高 齢 者 医 療	3億9,317万5千円
介 護 保 険	31億8,023万円
火 葬 事 業	5,039万9千円
墓 園 事 業	385万3千円
農 業 集 落 排 水 事 業	1,019万円
下 水 道 事 業	4億3,977万円
育 英 事 業	2,228万1千円

… 3 月 定 例 会 …

令和2年度スタート 住んでよかったと思える町に 福祉・教育を充実させた予算編成に

3月定例会は、2月26日から3月19日までの23日間の会期で開催した。

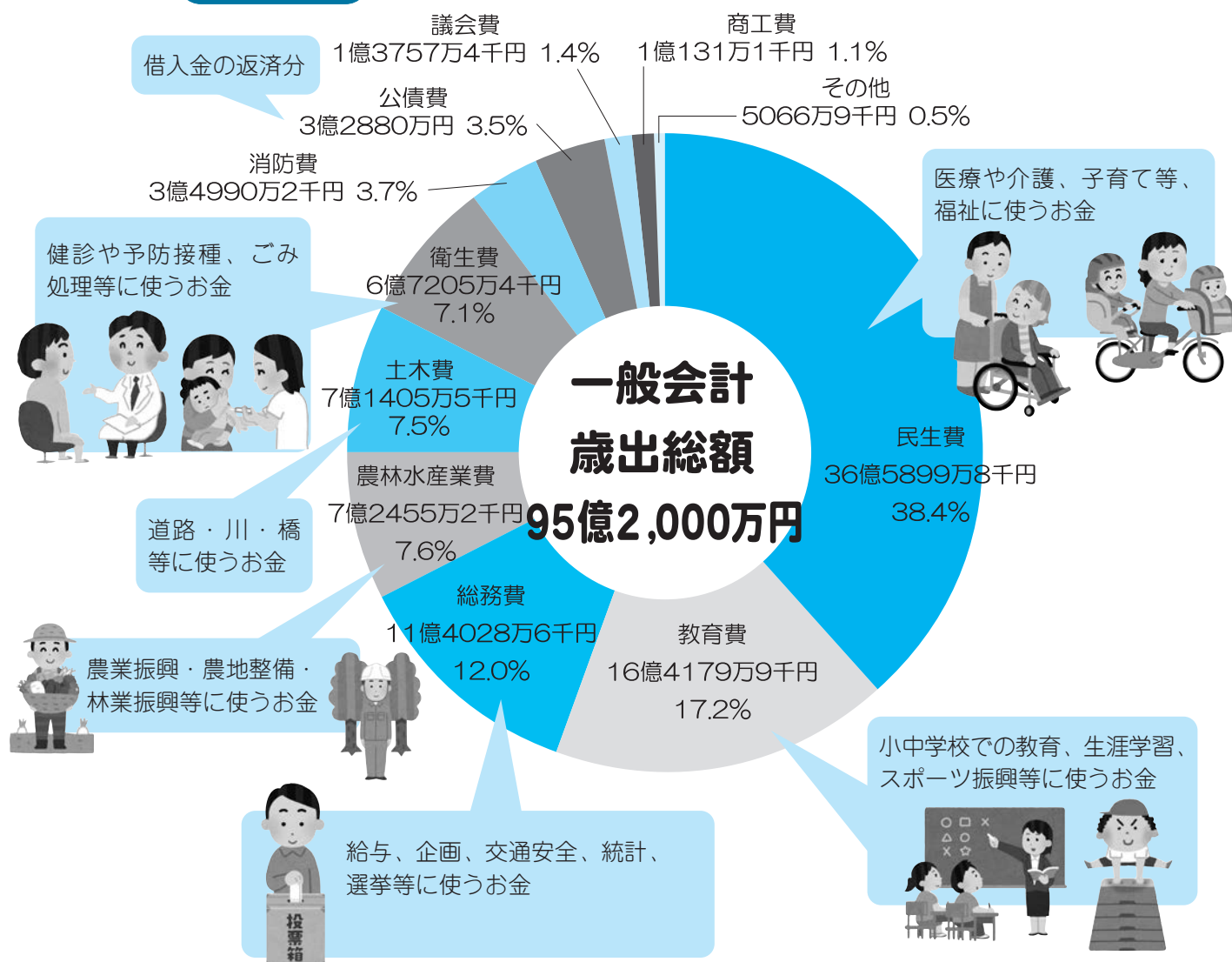
本会議初日には、町長から令和2年度施政方針と議案の提案理由の説明があった。2月28日に令和2年度当初予算の概要説明を受け、6日には10名の議員が登壇して一般質問を行い、町執行部の考えを質した。提案された各議案を各常任委員会に付託し、散会した。

最終日の19日には、令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算等、議案37件、追加議案3件をいずれも原案どおり可決し、閉会した。

今回の傍聴は、延べ14人であった。

令和2年度 一般会計 95億2,000万円

使いみち



公営企業会計

会 計 名		予 算	会 計 名		予 算
陶病院事業	事業収益	13億2,381万3千円	介護老人保健施設事業	事業収益	3億9,570万円
	事業費用	13億1,957万4千円		事業費用	4億4,800万円
	資本的収入	3千円		資本的収入	1,177万4千円
	資本的支出	1億529万5千円		資本的支出	1,177万4千円



令和2年度の新規事業等を
紹介します

陶こども園改修工事 1億2217万円

平成4年の開所から27年経過し老朽化が進んでいるため、大規模改修工事に着手する。2020年度の完成を目指す。



出産祝い金（第3子以降増額補助） 530万円

子育て支援を充実強化するため、第3子以降の出産について、10万円の補助をする。



ふれあい運動公園テニスコート改修工事 3億84万円

幅広い世代の方が利用できる施設にすることで、地域の活性化を図るとともに、町民の健康増進に寄与する。2020年度の完成を目指す。少年サッカー、ホッケー、フットサル、ゲートボールなどの利用ができる。



地域おこし協力隊事業 420万円

地域おこし協力隊を1名採用。
新たな視点・発想により綾上地区の地域資源などの魅力を再発見し、住民と一緒に中山間を盛り上げてくれるための事業を推進する。



羽床上体育館耐震改修工事 1億300万円

地震時の指定避難所であるため、耐震改修等を行う。また、健康増進を図る場としても利用できるように整備する。2020年度の完成を目指す。





洋式に改修される滝宮小学校トイレ

令和元年度一般会計補正予算

2億2300万円を増額補正し、105億2618万円とした。

道の駅滝宮うどん会館リニューアル工事費の増額。その他各事業における事業費の確定見込みに伴う補正。

●**総務費**

公共施設等長寿命化基金積立金3億円の増額。

●**民生費**

介護保険事業特別会計繰出金1058万6千円の増額。
プレミアム付商品券事業費2034万1千円の減額。

●**衛生費**

塵埃埋立費1534万円の減額。

●**農林水産業費**

認定農業者育成事業費403万3千円の増額。農業振興施設整備補助金1237万9千円の減額。県営土地改良事業費1537万9千円の減額。

●**商工費**

道の駅滝宮うどん会館リニューアル工事費1億6885万円の増額。

●**土木費**

道路橋梁新設改良費3731万4千円の減額。急傾斜地崩壊防止対策費3747万6千円の減額。

●**消防費**

デジタル戸別受信機5231万5千円の減額。
新型コロナウイルス対策用消耗品費に100万円計上。

●**教育費**

昭和小学校（小便器36器、洋便器59器）、滝宮小学校（小便器35器、洋便器43器）の

トイレ改修工事費2億3000万円の増額。

条例の改正

●**綾川町防災行政無線施設（無線情報システム）条例**

防災行政無線施設のアナログ施設を撤去し、デジタルの基地局を本庁、中継局を高山航空公園とする。

●**綾川町職員のサービスの宣誓に関する条例**

会計年度任用職員制度が確立されたことに伴い、会計年度任用職員の服務に関する事項を定めるための改正。

●**綾川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例**

地方自治法及び地方公務員法の規定に基づき、医師の確保に必要な「初任給調整手当」を定めるための改正。

●**綾川町災害弔慰金の支給等に関する条例**

災害救助法が適用になった時、災害援護資金の貸付の変更のための改正。

●**綾川町介護保険条例**

低所得者の介護保険料軽減強化のための改正。

●**綾川町環境保全協力金条例**

他の地方公共団体から本町に所在する民間の最終処分場施設に、持ち込まれる一般廃棄物に対し、環境保全協力金の負担増額を求めるための改正。

●**綾川町下水道条例**

●**綾川町農業集落排水処理施設条例**

使用日数が2カ月に満たない場合の使用料算定方法について、香川県広域水道企業団における水道料算定方法との整合性を図るための改正。

●**綾川町営住宅条例**

公営住宅等（特定優良賃貸住宅を除く）における連帯保証人を廃止し、緊急連絡人を設ける。保証人の確保が困難である低所得者等への住宅提供を可能とするための改正。

●**綾川町移住・定住促進住宅条例**

債務保証に極度額を設ける

ことに対応するための改正。
公営住宅とは設置目的が異なることから、連帯保証人の廃止は行わない。

教育委員会委員の任命同意

任期 令和2年5月12日

～令和6年5月11日

香西 弘志 氏（65）
綾川町滝宮150番地1 **再任**



濱崎 泰子 氏（63）
綾川町畑田812番地1 **再任**



3月定例会

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
教育委員会委員の任命同意	原案可決
綾川町防災行政無線施設（無線情報システム）条例の一部改正	〃
綾川町監査委員条例の一部改正	〃
綾川町職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正	〃
綾川町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正	〃
綾川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	〃
綾川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	〃
綾川町介護保険条例の一部改正	〃
綾川町環境保全協力金条例の一部改正	〃
綾川町下水道条例の一部改正	〃
綾川町農業集落排水処理施設条例の一部改正	〃
綾川町町営住宅条例の一部改正	〃
綾川町移住・定住促進住宅条例の一部改正	〃
令和２年度綾川町町営バス運送事業特別会計予算	〃
令和２年度綾川町国民健康保険特別会計予算	〃
令和２年度綾川町国民健康保険診療所特別会計予算	〃
令和２年度綾川町後期高齢者医療特別会計予算	〃
令和２年度綾川町介護保険特別会計予算	〃
令和２年度綾川町火葬事業特別会計予算	〃
令和２年度綾川町墓園事業特別会計予算	〃
令和２年度綾川町農業集落排水事業特別会計予算	〃
令和２年度綾川町下水道事業特別会計予算	〃
令和２年度綾川町育英事業特別会計予算	〃
令和２年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計予算	〃
令和２年度綾川町介護老人保健施設事業会計予算	〃
令和元年度綾川町一般会計補正予算（第３号）	〃
令和元年度綾川町町営バス運送事業特別会計補正予算（第１号）	〃
令和元年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	〃
令和元年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第２号）	〃
令和元年度綾川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	〃
令和元年度綾川町介護保険特別会計補正予算（第２号）	〃
令和元年度綾川町火葬事業特別会計補正予算（第１号）	〃
令和元年度綾川町墓園事業特別会計補正予算（第１号）	〃
令和元年度綾川町下水道事業特別会計補正予算（第１号）	〃
令和元年度綾川町育英事業特別会計補正予算（第１号）	〃
瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の一部変更	〃
令和元年度綾川町一般会計補正予算（第４号）	〃
「非核平和都市宣言」に関する決議	〃
綾川町議会会議規則の一部改正	〃

■賛否が分かれた議案

議案の内容	議決結果
令和２年度綾川町一般会計予算	賛成14 反対1（安藤利光）

総務委員会

綾川町防災行政無線施設
(無線情報システム) 条例
の一部改正

アナログ施設からデジタル施設への切り替えにより、放送室を一本化する。

問 戸別受信機を設置していない世帯への対応は。

答 設置していない世帯や新規の世帯については、新たに申請があれば対応する。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

会計年度任用職員のフルタイム及びパートタイムの医師に関わる部分の初任給調整手当を改正する。

問 これにより医師不足が解消できるのか。

答 1名を採用する予定であり、そのための改正である。

令和2年度綾川町一般会計
予算

●議会タブレット導入費用

問 議会タブレットの有効活用は。

答 ペーパーレス化とあわせて、議員の政務活動としての活用も目的としており、まずはタブレットを有効活用することを目標としたい。

●宿直業務の委託

問 宿直業務委託について、サービスの低下とならないように。

答 緊急性のあるものは、担当課に連絡する体制づくりを検討する。

問 宿直の委託について、災害時に心配である。

答 災害時には、災害対策本部が立ち上がり対応する。
●全公用車へのドライブレコーダー装備

問 安全の観点からもバックモニターの整備は。

答 ポンプ車等へのバックモニターの整備は、重要な装備があり難しいが、検討

していく。

●地域おこし協力隊の導入

問 地域おこし協力隊の応募状況は。

答 隊員募集については、1名の応募があり、現在選考中である。今後は、隊員を増やしていく予定である。
●若者定住促進補助金をはじめとする移住支援補助金

問 多くの移住者が申請している。今後移住した人たちの交流の場を設け、綾川町の魅力を発信しては。

答 令和元年に補助金利用者の若者との交流会を実施し、貴重な意見を伺い予算にも反映している。今後とも継続して交流会を開催したい。

●キャリアパスポートの新規計上

問 キャリアパスポートとはどのようなものか。

答 国の指針により、子どもたちの成長を書類にして、目に見える状態で蓄積していくもので、小学校から高校まで引き継いでいく。

問 小児生活習慣病予防検診業務の委託内容は。

答 小学4年生で採血をし、血圧、血糖、コレステロール等の数値により改善が必要な児童には、運動や食事等について指導するもので、中学1年生においても同様の検査を行い、継続的な観察分析を行う。

問 旧西分小学校の校舎の解体工事において、プールはどうなるのか。

答 防火水槽として、管理していく。

問 陸上競技場の改修工事において、芝の張替えは。

答 インフィールドを使用するサッカー競技には、天然芝が適している。



天然芝での改修工事が予定されている陸上競技場（綾川町総合運動公園）

問 ふれあい運動公園のテニスコート改修による、利用見込みは。

答 フィールドホッケー及び少年サッカーの定期使用等により、多くの方の利用を見込んでいる。また、フットサルについては、過去の地区体育館での利用状況から、多数の方の利用が期待できる。ゲートボールは、4面の利用が可能となる。

●育英事業

問 地元就職応援事業の対象者は、何人いるのか。

答 令和元年度は、21名である。

問 連帯保証人の要件は。

答 町内で2名いない時は、1名は県内に住所を有する者でもよいことに変更する。

問 給付型は考えていないのか。

答 寄附金が財源となっており、給付型になると財源的に対応できない。

その他

問 教職員の働き方改革について、町としてどのような対応をしているのか。

答 町のガイドラインを策定した。ICカードの導入などで、残業時間は減っている。

厚生委員会

令和2年度一般会計予算

●総務費

マイナンバーカード取得促進事業に係る経費を計上。

●民生費

東京パラリンピック聖火採火式イベント業務委託料を新規計上。買物弱者支援事業運営補助を増額計上。また、女性活躍事業所等認定及び表彰事業費を計上。

●児童福祉費

一部の給食調理業務や放課後児童クラブの管理運営業務を民間委託する委託料、陶こども園大規模改修、羽床上こども園トイレ改修工

事費及び委託料、次年度解体を予定している滝宮保育所の設計費、病児保育室「うぐいす」と滝宮こども園「ひだまり」の陶病院への委託料、子育て支援センター「にじ」と滝宮こども園「しいのき」の管理運営費等を計上。

●衛生費

新規事業として、ひとり親家庭学習支援事業に係る委託料、第3子以降の出産祝い金を10万円に増額する。

健康増進施設事業について、民設民営方式での誘致事業に要する委託料を計上。特定不妊治療の補助金に加えて、新規事業として一般不妊治療に対する助成並びに、不育症に悩む夫婦に対してへパリン療法の費用助成を新規計上。また、家庭用蓄電池システムの補助金を計上。

●清掃費

7月から9月までの3か月間、ペットボトル・缶・ビンを月2回、プラスチック容器包装は毎週収集する業務委託料を計上。



7月～9月に追加でゴミ回収を実施

問 申請時来庁方式によるマイナンバーカードの本人限定受取郵便はどのように。

答 申請者本人に限り、郵便局又は自宅で郵便物を受け取ることができる。その際には本人確認書類が必要である。

問 狂犬病予防注射の接種状況は。

答 平成30年度末で接種率は61・6%である。

問 旧綾南地区でも買物弱者が増えていると思われるが、今後の方針とバス路線も含めた見直しは。

答 秋頃、旧綾南地区の中山間地域への拡大を検討している。また、バス路線の見直しも考えていきたい。

問 災害時看護師ボランティアの登録者に、防災訓練の参加案内としては。

答 避難所開設等の訓練があれば参加を案内し、有事に対応できるよう万全を期したい。

問 風疹の抗体検査の対象数、受診数は。

答 接種見込は650人、受診数は233名であり、未受診者にクーポン券再送付を予定しており、啓発に努める。

問 滝宮こども園への入園希望者が定員を超えているが、問題ないか。また、保育士の適正な配置は可能か。

答 定員の2割増までは受入れ可能である。また、保育士の配置についても、適正な人数配置を行っている。



保護者にとってありがたい病児保育室の拡充
(写真は陶病院隣接の「うぐいす」)

問 4月から滝宮こども園で開始する病児保育室「ひだまり」、子育て支援センター「しいのき」、一時保育室「くるみ」の周知は。

答 現在、町内施設を利用の方には直接周知し、その他の方々には、未就学児訪問や各種健診時、また広報誌、ホームページ、アプリ等の媒体を通じて周知する。

問 滝宮保育所の跡地利用の計画に当たり、検討委員会は、いつ頃設置するのか。

答 令和3年度に解体工事をした後、跡地利用検討委員会を設置する。令和4年度に跡地利用整備基本計画の策定を予定している。

令和2年度綾川町国民健康保険特別会計予算

問 特定健康診査の中で認知症の早期発見を医師会に協力して頂いていると聞か。

答 認知症発見簡易シートでチェックして早期発見につながったケースも多くあり、効果的である。

令和2年度綾川町介護保険特別会計予算

問 ほつとか連とこ100歳体操やいきいきサロンの実施場所が増えていくか。新しい場所を増やすPRで活動写真を広報に載せてみてはどうか。

答 令和元年度で100歳体操が5カ所増え、55カ所である。徐々に浸透しているのので、更に啓発したい。

令和2年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計予算

収益で13億2381万3千円、費用として13億1957万4千円。差引423万9千円の黒字予算となっている。

令和2年度綾川町介護老人保健施設事業会計予算

収益で3億9570万円、費用として4億4800万円。差引5230万円の損失による欠損金が生じる予算となっている。

収入において、運転資金として一般会計からの借入金4000万円を計上し、負債による特別損失として予算処理している。依然厳

しい経営状況が続いている。

問 老健運営費に貸付繰出金となるが、指定管理者制度（公設民営）となった場合も同額の繰出金が必要となるのか。

答 現在の経営形態での計画額であり、指定管理となった場合は不明である。

令和元年度綾川町一般会計補正予算

問 太陽光発電補助の申請件数は。

答 32件である。

問 プレミアム付商品券の減額は、予定より申請が少なかったのか。

答 2万円で2万5千円の商品券が購入でき、3歳未満の子どもがいる世帯主か非課税者が対象である。申請率は全国的にも低調で、昨年11月に再度ご案内をしたが、あまり増えなかった。

問 不妊治療助成の減額は、利用できる人が制度を知らなかったのか、利用しにくい状況だったのか。

答 申請もれはないが、ま

ず第1段階でのPRを積極的に取り組みたい。

健康増進施設誘致事業の進捗について

町が目指す「子どもからお年寄りまでの健康づくりの場」としてフィットネスクラブ設置を検討している。過去に地方公共団体で実施した事業は、破綻が多く、民設民営方式で進めている。

しかし、5km商圏の顧客予想人口が安定経営する人口に満たない等の理由で、誘致実現に至っていない。今後は町のアシスト方法も含めて検討していく。

その他

問 新型コロナウイルスによる休校によって、放課後児童クラブの利用状況は。

答 通常時とほぼ同数。予防対応策として、児童1人当たりの面積を広く確保し、児童間の距離が保てるように努めている。

建設経済委員会

綾川町移住・定住促進住宅条例の一部改正

問 債務保証の限度額の基準は。

答 家賃の12か月分を設定する。

令和2年度綾川町一般会計予算

歳出

●経済課関係

認定農業者育成事業、農業振興施設整備事業、経営体育成基盤整備事業、ため池ハザードマップ作成業務、町有林造林事業。

新規事業としては、林道橋梁修繕工事、観光振興に関する賑わい創設業務、道の駅滝宮うどん会館リニューアルのオープンニングに要する費用の計上。

●建設課関係

キッズゾーン設定、橋梁点検業務、八束池の埋立てに係る町道中植西線改良工事、2地区における急傾斜地崩壊防止対策事業。

新規事業としては、公園整備に関する計画検討に要する費用の計上。

歳入

●経済課、建設課

事業に係る分担金や国、県補助金が主である。また、経済課関係では、農道管理手数料や貸付金元利収入として中小企業融資預託金回収金。建設課関係では、住宅や道路の使用料、都市計画手数料などである。

問 小麦の薫る里づくり推進事業における、作付面積の目標値、また、農業に対する企業参入の実績はあるのか。

答 作付推進目標は、10ヘクタールであり、再生可能な遊休農地の24%にあたる。企業参入は、3年ほど前の1件である。

問 マッチング促進基盤整備事業における防草シートの効果的な設置の推進と、町単独による補助金創設は。

答 県農地機構を通じて貸し借りを行っている農地が対象である。

問 農業振興公社が受託する農地の面積は決まりがあるのか。

答 面積の大小にかかわらず、農業用機械の搬入が可能であれば、極力受託している。

問 賑わい創設業務の内容は。

答 綾川駅周辺における特産品PRのためのイベント開催である。

令和2年度綾川町農業集落排水事業特別会計予算

栗原地区農業集落排水処理施設の維持管理に要する費用の計上。

令和2年度綾川町下水道事業特別会計予算

中讃流域下水道大東川処理区及び特定環境保全公共下水道に係る維持管理や建設費に要する費用の計上。

令和元年度綾川町一般会計補正予算

道の駅滝宮うどん会館リニューアル事業について、地方創生拠点整備交付金1億7373万円を増額補正



造成工事中の「道の駅滝宮うどん会館」

した。施設整備及び備品整備を対象に認定されたとの説明があった。

問 道の駅滝宮うどん会館の建設工事の予定は。

答 4月下旬の入札予定である。

その他

問 道の駅滝宮うどん会館の指定管理者は。

答 令和2年度末までは、株式会社綾南プラザである。以降については、条例に基づき新たに選定を行う。

問 公園整備計画検討業務の内容は。

答 個別の設計業務ではなく、町内における配置や、どのような機能を持つ公園を整備すべきか検討する。

問 綾上支所を活用した地域活性化は。

答 長柄ダム再開発事業の推進室として利用を検討している。

問 作業機付きの農耕用トラクターの公道走行についての周知は。

答 広報等で、周知や指導を行う。

学校等再編整備 調査特別委員会

中学校の統合

綾川町学校再編整備計画（案）が提出された。統合時期を令和4年4月を目途に進める。

問 地域に残ってくれる子どもを育てるのも学校である。地域を知らない子どもは戻ってこない。2年後の統合は早いのでは。

答 小学校では郷土を知る授業や活動を行っている。

これからはコミュニケーション能力が重要であり、それに対して主体的・対話的で深い学びを実践していく。

問 保護者の一番の関心は、いつ統合するのかということである。統合時期を早めに知ることにより、部活動や新しい習い事を始める場合の判断材料にもなる。早めに両中学校の保護者に情報提供が必要では。

答 説明の時期は、まだ決まっていないが、決まり次第



通学路の整備が必要な県道府中造田線

第、早めにお知らせする。
問 生徒や保護者だけでなく、地元への説明会としては。

答 組織立てをして、町の方向性として、保護者や地元で説明をしていく。

問 何年たつても、反対意見はある。町が2年後と決めたのなら、それでいいのではなにか。令和4年に向かって進めでは。

答 少人数の良さもあるが、子どもの学習環境を考える上で学校の適正規模も大切である。地元の理解も得ながら、子どもの将来を一番に考えていく。

問 統合は、2年後を目途にしている。その間の状況により変わってくる。その中で、通学路や遠距離通学、安全対策等の課題について対応を示しながら進めるべきでは。

答 子どもの安全対策のため、通学道路の照明など、地元の意見も伺いながら、また、道路改良等については、県へも要望していきたい。

綾川町議会 タブレット端末導入へ
令和2年度中、早期の導入を目指す。
導入目的

電子データによる議会会議資料や情報の伝達・共有、及び、ペーパーレス会議を実現し、議会運営の効率化を図ること。

また、各議員の政務活動の活性化、議会事務処理等の効率化を図ることを主な導入目的とする。
議会へのICT導入の一環として、タブレット端末を導入するため、平成30年9月に情報機器導入検討特別委員会を設置し、調査・研究してきた。令和2年度当初予算に計上し、年度中期の導入・運用を進めていくことを目指す。

※ICT（情報通信技術）



タブレット端末機

決議文を採択 「非核平和都市宣言」に関する決議

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、綾川町民すべての願いでもある。

しかしながら、今なお核兵器の脅威を初め、悲惨な争いがあとをたたず、人類の平和と地球環境が脅かされていることは、誠に憂慮にたえない。

我が国は、世界唯一の被爆国として、今後とも非核三原則「核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませず」を堅持し、核兵器の恐ろしさと被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島、長崎の惨禍を繰り返してはならない。

綾川町は、平和を愛し、人類の共存を願う立場から、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶と核の不拡散を求め、憲法にうたわれている平和的生存権の確立を目指し、ここに綾川町議会の総意により、「非核平和都市」を宣言する。

綾川町議会



支えあいフォーラム



福家利智子 議員

高齢化社会への対応は

マンパワーも含め鋭意努力する

問

2025年を見据え、地域の高齢者が健康で安心して暮らせるためには、保健・医療・福祉の面から総合的に支援する地域包括支援センターの機能強化が重要である。「安らぎを感じ、いきいきと暮らす町」の実現にむけた町の取り組みは。

答

他市町では高齢者のみならず、障害者、子育て世代等、地域の課題を「丸ごと」受け止める「場」、「基幹」を設置する動きが、モデル事業として実施されている。本町においても、地域包括支援センターの、増加するニーズに対応すべく包括的な相談

支援体制や機能の強化が図られるようにマンパワーも含め鋭意努力していく。

農業用ため池整備対策は

関係受益者と緊密な連携を図る

問

時代の変化により、ため池の下流には住宅などが増えており、ため池の適切な管理や安全が重要である。世代交代が進み、権利関係が不透明かつ複雑になっている。また、離農や高齢化により利用者主体とする管理組織が弱体化し、日常の維持管理が適

答

正に行われていない状況である。所有者不明で、適正な管理が困難な農業用ため池について今後どのように対応するのか。

現在、農業用ため池は、1621ヶ所、そのうち、法律の施行により届出が義務付けられた個人所有のた

め池は、420ヶ所、昨年8月から、現在までに届け出があった池は、221ヶ所で、53%となっている。関係受益者と緊密な連携を図り、ため池の防災・減災対策と適切な保全管理のあり方を検討していく。



地域共生の女子サッカーチーム寮（旧西分保育所）



井上博道議員

地域振興に係る女子サッカー問題の現状と今後は

町全体を活性化させるサッカー団体となるように町が関わる

問 西分保育所跡を選手寮とする、サッカー女子プロチーム誘致による地域振興を、地元、町民は期待している。地域振興に係る女子サッカーの現状と今後に関しての本町の考えは。

答 本事業は、あくまでも地域振興が目的である。西分地区は勿論、本町全体が活性化され、盛り上がるような団体になるよう、本町として関わっていく。

問 現在、選手は何名応募しているのか。選手は会社の正社員になるのか。どのような西分地区活性化を考えているのか。

答 UDN香川FCの選手は現在募集中である。UDNと個人が締結する選手契約であり、UDNの社員になる訳ではない。西分地区に若者が集い、地元イベント等での住民との交流が地域の活性化に繋がる。

問 選手の募集は会社の自主性に委ねているのか。

答 町の支援、啓蒙活動等が必要だと思うが、金銭面を含めて、どこまで支援する計画か。

答 選手の募集については、会社の自主性に任せている。金銭面については、内容にもよるが、基本的に支援はしない。広報関係については、積極的に支援したい。

問 選手の本業が仕事やアルバイトであれば、公共的団体等ではない民間会社や個人への無償での町財産貸与になる。設立したての会社をどうやって信用したのか。

答 営利が大きくなると、施設の無償貸与の再検討が必要になる。会社側の熱意により、誘致が決定した。

問 選手や会社が法令違反や契約違反をした場合、退寮や事業撤退を要求すべきだが、契約内容はどうか。

答 地域住民の迷惑にならないよう、法令違反や契約違反があった場合には、退寮させることもできる内容も考慮して契約を結びたい。

問 選手が定員に満たない場合でも、会社はサッカー事業を運営すると町は確認しているのか。会社がサッカー事業から撤退した場合、違約金等を請求するのか。建物の維持運営費等の負担は町か会社のどちらか。

答 選手が定員に満たない場合、定員を満たすように努めると確認している。契約金等の支援を考えていないので、違約金は想定していない。建物の維持管理費は町負担、光熱水費は会社負担とする契約を締結予定である。

問 町の公共工事に、町の関係者が幹旋等に関与するのは倫理的・法的に問題があり、町民の疑惑を招く原因になる。内装工事下請負人（会社）は誰か。

答 綾川町工事請負契約約款に基づき、「下請通知書」を元請け業者から受け取った。内装工事下請業者は全部で8社である。議場で業者名を発表することは控える。



新型コロナウイルス感染症対策相談窓口（健康福祉課）



安藤利光議員

「道の駅滝宮うどん会館」早期オープンを

今年中のオープンを目指し進めていく

問 昨年6月議会で「道の駅滝宮うどん会館」について、活力ある地域づくりが進む施設に、また、工事期間について質した。

それに対して町は、「讃岐うどん発祥の町」綾川町の特色を出した「道の駅滝宮うどん会館」とし、工期は10月から翌年3月完了をめざすと答弁された。

しかし、その後8カ月経過

し、当初、産直に出荷していた生産者も減少したと聞く。取り戻すのは大変である。オープンはいつか。

答 「道の駅滝宮うどん会館」の工事は、10月から工事着手予定で進めていたが、事業執行上の不手際により、町民、関係者に迷惑をかけてしまった。

現在、造成工事の発注に向けて進めており、建築工事は、

3月定例会で補正予算の議決後、入札を行う。そして契約案件の議会承認後、工事着手し、今年中のオープンを目指して進める。

問 概算事業費を、早く出しておけばこのような結果にはならなかったのでは。

答 事業が遅れて、大変申し訳ない。早期のオープンを目指して取り組んでいく。

「新型肺炎」一刻も早く検査、治療体制を

PCR検査は、保健所が指定医療機関を紹介

問 新型肺炎が猛威をふるい連日報道がされている。

町は、検査、治療体制の拡充を国に要望すべきである。また、町に相談窓口の設置をすべきでは。

答 本町は、2月28日「綾川町新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、事務局を健康福祉課に設置した。

また、国がPCR検査につ

いては今まで通り、保健所が指定医療機関を紹介することになる。

健康福祉課、管轄保健所等と連携を図り、対応していく。



ユネスコ無形文化遺産に登録されるか！滝宮の念仏踊



三好重徳議員

滝宮の念仏踊 ユネスコ無形文化遺産への登録に向けて

情報発信ができる体制を積極的につくる

本年2月、国の文化審議会において、ユネスコ無形文化遺産への登録を目指す国内候補に、「滝宮の念仏踊」を含む、「風流踊」（全国各地に伝わる踊り）が選ばれた。

として、設立当初から加盟している。

昨年11月13日には、文化庁長官へ登録の提案を求める要望活動を行い、その後文化庁へ資料等を提出した。

今回の選定に至るまでの経緯は。

地域活性化、情報発信をどのよう。

平成31年2月1日、全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会が設立された。

ユネスコ無形文化遺産への登録に向けて、保存会とともに保存継承に取組む。また、交流人口やインバウンド（訪日外国人旅行）の

滝宮念仏踊保存会は正会員として、また綾川町も特別会員

ユネスコ無形文化遺産への登録に向けて、保存会とともに保存継承に取組む。また、交流人口やインバウンド（訪日外国人旅行）の

増加につながる取組みを進める。

情報発信はホームページやフェイスブックのほか、人が集まる場での踊りの披露、衣装の展示など、あらゆる機会を捉えてPRに努める。

また、町全体として各種情報を集約し、ホームページやフェイスブックなどで適宜情報発信ができるように体制づくりを検討する。

「道の駅滝宮」を循環路線のバス停に

積極的に検討する

町長の施政方針中、重点施策の第一に、道の駅滝宮うどん会館のリニューアルを早期に実現するとある。

アルオープンに向け、道の駅滝宮を循環路線のバス停に設定しては。

住民の皆さま、観光客の方など、多数の利用が望まれる。

リニューアル後は大勢の皆さまにご利用いただける。また、インバウンドへの対応や近隣観光地への

中継地としての機能も強化したい。

そこで、多くの方が利用しやすいように、町営バスの路線見直しを積極的に検討する。

今後、道の駅滝宮のリニューアル



「人が集まる綾上の町づくり」の児童によるプレゼンテーション
(平成30年12月 綾上小学校 6年)



大野直樹議員

子育て支援全般について

安心して子育てが出来る環境を整える

郷土愛を育む教育体制の構築

問

まちづくりに大切なのは、人であり、郷土愛を育てていく共育（教育）にあると考える。具体的に郷土愛を育む教育体制をどのように構築していくのか。

答

小・中学校期の教育は極めて重要である。学習の時間等で、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行っている。生まれ育ったまちを見て・聞いて・調べて、故郷に「何が必要か」「どうしたいか」などを自分達で考え、話し合い、そして、子ども達が自分達の「まち」を誇りに思える「まちづくり」を想像するなどの取組を行っている。また、地元企業の紹介や職場体験学習等により、望ましい勤労観や地域に対する愛着を育んでいる。

多子世帯への支援

問

行政だけではなく、地元企業と提携しながら進めてはどうか。地元企業の

育成は、町外へ出た学生の希望する就職先に繋がるのでは。

答

国・地方自治体と企業・店舗が連携し、各種割引・優待サービス、外出サポートを提供する「多子世帯向け子育て支援バスポート事業」を展開している。まずは、この事業をより多くの方々が利用できるように啓発する。

土曜保育の今後の運営

問

子育て支援施設きらり一力所で行うことで、職員の負担軽減になると考えるが、家族の理解を頂けるなら、職員交流、職員の負担軽減、各費用の面を考え、検討しては。

答

土曜一日保育を、子育て支援施設きらりで行っているが、問題なく運営されている。土曜半日保育においても利用者の理解をいただきながら町全体での運営を考えていきたい。

スケートパーク（アクションスポーツ）の整備

問

2020年東京オリンピックで正式種目に決定し、遊びの枠を超えた「スポーツ」として認知されている。香川県では高松市をはじめ、公園にスケートボードの設備を設置しており、屋内でも競技が可能な施設もある。令和2年度に公園の整備及び在り方について具体的に準備を進める中で、このスケートボードやBMX・インラインスケートなども利用できる複合型施設の整備を。

答

県内には、スケートボードを楽しめる施設が数カ所あり、公共施設である公園の中に設置されているものもある。町内の運動公園においては各施設の配置状況から、新設箇所の確保は困難と考える。今後、スケートパークの設置は、運動公園のあり方等とあわせて研究していく。



災害時における校区防災訓練



西村 宣之 議員

これからの自治会活動・自治防災活動は

公民館を拠点に新たなコミュニティ自治会を

問 この数年は、自然災害も想定を超えた大きな被害をもたらすようになっていく。災害を減災し、大きな被害とならないように国・県そして本町においても、町民の生命と財産を守るための対策を施策としている。近年では、自主防災の組織も広がりつつあるが、各地区とも例外なく高齢化率が35%になろうとしている状況下にある本町において、各自治会における防災減災活動は、大変重要である。自助共助の観点からも、より一層の拡大を期待する。

しかしながら、平成18年の綾川町誕生以来、自治会の加入率は低下が続いており、加入率59・8%となっている現状である。非常時においては、隣近所は大切な共助の根幹であるが、町民のほぼ4割弱が自治会に加入していない。

すべての町民が、綾川町は住みよい町であり、人情味あふれる笑顔の耐えない町であ

ることを維持、継続しなければならぬ。そのためには各地域における伝統ある自治会と共存できる新しい「コミュニティ」が必要ではないか。具体的な対策は。

答 自治会活動は、「高齢者に対する支援活動」や「自主防災組織としての防災活動」において、近年大きくその重要性がとりあげられており、地域住民が協力することが極めて重要であると広く認識されており、地域コミュニティを向上させていかなければならない。

しかし、自治会加入率の低下の原因については、自治会活動に対する必要性の低下や負担感などがある一方、加入しようとしても知り合いがおり交流もないため入りづらといったことがあげられる。

そのため、未加入世帯に対して防災で結びつく新しいコミュニティづくりを考えている。昨年は、災害時における

校区防災訓練にて、自治会加入・未加入に関わらず、大勢の方にご参加頂き、令和元年度に避難所開設訓練を行った。また、令和2年度には避難所運営訓練を予定している。

校区防災訓練を通じて、地域の人との交流により共助の意識を高めることができる場を設けるとともに、自治会加入のきっかけにもなると考えている。

また、新たなコミュニティのあり方として、モデル的に公民館を中心とした防災でつながったコミュニティ自治会を結成することを計画している。これにより、未加入世帯が地区公民館を活動の拠点とし、防災活動を行うことで、共助の気持ちを大切にした新たなコミュニティが結成されるよう地域コミュニティの推進に努めていく。



安全運転支援装置



十河茂広議員

高齢ドライバーを支える安全装置の普及を

申請受付に向けて国の準備が進んでいる

昨今、社会問題化している高齢ドライバーによる事故。交通事故死事故ワースト上位の香川県。昨年、東京池袋で起きた87歳の高齢ドライバーによる悲惨な事故がまだ記憶に新しいところである。また、高速道路での逆走等、車社会の日本において高齢ドライバーの運転の是非が運転免許許証の自主返納とあわせて議論となっている。

「高年齢講習」、75歳以上は合わせて「認知機能検査」を行っているが、町独自で高齢者に特化した講演、安全教室等を行ったことはあるのか。また、今後の計画は。

問 70歳からの高齢者が免許更新を希望する場合「高年齢講習」、75歳以上は合わせて「認知機能検査」を行っているが、町独自で高齢者に特化した講演、安全教室等を行ったことはあるのか。また、今後の計画は。

答 令和元年度は、高齢者学級を含めた様々な会合において高松西署職員を講師として招き15回880名の参加のもと実施をしている。今後

も、高齢者学級や老人クラブ等において、交通安全教室開催に向けて高松西署と連携を深めていく。

問 安全運転サポート車、後付け装置装着車を実際に体験していただく機会が大事であり、必要と考えるが。

答 イベントの規模や場所等の問題もあることから、香川県や香川県警察等のイベント開催の動向も踏まえて研究を進めていく。

問 国のサポート車補助金制度に対して、町として住民の皆さんに広報していく必要があると考えるが。

答 国の令和元年度補正予算において盛り込まれた制度であり、申請受付に向けて国の準備が進んでいる。申請手続き等の詳細が公開されたら、広報誌等を通じて周知を行い啓蒙啓発に努めていく。

問 電動車いす、電動アシスト自転車などの小型モビリティ（移動手段）など、車に代わる高齢者の新たな生活の足として普及に力を入れたい。

答 多様な交通手段があることは認識している。メリットもありながら当然デメリットも存在する。地方で抱える交通問題を十分検討して、広報啓発も含めて研究課題とする。





虫食いだらけの無農薬



虫食いのない無農薬



三好東曜議員

食をどう改善するのか

町民の健康を食から考え取り組む

問 町長は施政方針で、「各世代がいっきき暮らしをまねるまち」について医療費の増加を防ぐ方法の一つとして、国の示す予防・健康づくりに特化した事業にシフトすると発表した。

しかしながら「食」に関しての視点が抜けている。健康の源は「医食同源」というように「食」であり、根本療法である。検診や運動、医療に加えて行政に関わる「食」をどう改善して行くのか。

答 ①「食料生産」においては有機農業を支援する。

「有機農業促進対策事業」による堆肥の活用をはじめ、「環境保全型農業推進対策事業」での天敵導入を行っている。また、「新技術支援事業」での苅ウドンコ病対策等の町単独補助事業の実施、環境保全型農業直接支払交付金を活用し、減農薬対策、有機農業の推進を図っている。また、

綾歌南部農業振興公社では農薬を使用しないそば、菜種の栽培を実践している。

②「病気に負けない体を作る食の改善への取り組み」については基本理念となる「食べることが大切にする人づくりのまち」の構築に努力する。

「食生活から健康になるまち」「地元食の食材に親しむまち」などを挙げており、朝食摂取の推進や地元食材を積極的に取り入れた給食などの取り組みを勧める。

③「販売・消費」においては地産地消及び有機農産物消費の拡大に努めていく。

道の駅滝宮に新たに整備される産直市において、地産地消をJ-Aとともに促進する。

イベントにおいて有機農産物のPRコーナーを設ける。

④「廃棄」においてはフードバンクを活用して食品ロスを削減し、「コンポスト」・「ダンボールコンポスト」・「電動生ごみ処理機」など引き続き講習会や購入費の補助を行う。

問 国連の2030年までの持続可能な開発目標(SDGs)のうち20のターゲットは2020年が期限である。そのほとんどは環境問題に関する事。緑肥を使い二酸化炭素を土に固定する有機農業推進は全世界共通の喫緊の課題であり解決策である。

しかしながら、オーガニックという言葉の意味を正確に把握しているのは消費者の3.7%。更なる啓蒙が必要ではないか。

答 SDGsは研究を深める。オーガニックは言葉の意味の啓蒙に努め、健康に良い事をPRしていく。また、食育を推進していく。

※オーガニック(有機)農産物とは、化学肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基準として、環境への負荷をできる限り低減した栽培方法で生産された農産物。



保護者が利用制限できるgoogleファミリーリンクの端末管理画面



川崎 泰史議員

ゲーム依存に対する親の武器（強制力）とその研修等の実施は

町校長会や関係機関と連携して保護者啓発に努める

問

ゲームは将来の職業選択に関わり一律に否定すべきではなく文化としての存在を認識したい。一方、依存症は自らの意思で「コントロールできないため、対話を通じて「ペアレンタルコントロール

答

「ペアレンタルコントロール」などのツールを活用し、保護者の強制力の発揮が必要。そのようなツールの研修等の処置は取れるのか。

町校長会や青少年育成センター、高松西警察署等の関係機関と連携して保護者啓発に努める。なおスマートフォン等を持たせる初期段階で、ルールを親子で話し合うことが重要で、合わせて保護者に訴えていく。

学校等再編に伴う地域振興への意思は

サテライトキャンパス等の研究を行う。財源は相談していきたい。

問

中学校の統合が決定しても、在校生にとつて何ら問題解決にはならないことを、全当事者が自覚し、すべての問題に対策を実施していくことが重要である。

答

時間距離は県内中学校で1、2を争う。同時に跡地利用は最大の課題で、提案として学校などの誘致ができないか。

問

予算を確保していく必要がある。町の意思を再度確認したい。

答

過疎債もひとつの財源方策である。10億円という数字は内容等精査し、研究しながら対応したい。財政面は心配していないので、十分考えて対応したい。

また、統合は地域振興にとつてマイナスで過疎化が進行する。年間10億円程度の規模で予算を確保し、対策をしていく必要がある。過疎債などの研究も必要である。交通の要所で東京圏からの

また国では、東京圏の学校等の地方へのサテライトキャンパスの設置を促進するため、マッチングに必要な情報を掲載するポータルサイトの開設を予定している。



松内 広平 議員

冬の花火は夏以上に幻想的で夜空に映える
(左：あやがわサマーフェスティバル、右：滝宮夏祭り)

男性の育児休暇の取得推進を

本人意向を十分に確認し、取得促進に取り組む

問 小泉進次郎環境大臣が育児休暇取得を宣言し、大きな話題になった。政府は取得率を6%→13%へ目標を掲げ、環境整備した企業を助成する。世間でも男性取得への関心が高まり、取得を推進する企業は人材確保や定着率で他社との差別化ができる。

①町職員の取得数、取得率は。

答 ①ここ数年の取得者は0人。1人以上の取得を目標設定する。
②町職員の推進取り組みは。
③民間企業の推進取り組みは。
④父親単独の産前講座を開催し、育児取得と結びつけては。
⑤町職員に「半育休」という短時間勤務の制度から段階的に育児取得につなげては。

②今後は、出産予定の報告時に意向を確認していく。
③県内企業の取得率は、平成28年度2.7%。令和2年度は、育児・介護休業法に関するセミナーを計画している。
④父親が無理なく参加できる形で、支援を考えていく。
⑤本人の意向を十分に確認し、取得促進に取り組む。

町の魅力をPRするイベント・観光を

町産品をPRする「綾川駅バル」を企画している

問 ①あやがわサマーフェスティバルは、いつ開催し、どのような魅力発信を。

答 9月20日に開催予定。町産米のPRに加え、観光案内や岡崎市の特産品販売などで魅力発信していく。

問 ②「綾川駅周辺でのイベント」の内容は。

答 町産品のPRや店舗のイベント(バル)を企画。時期等は調整中。

問 ③「冬の屋外イベント」として、神戸ルミナリエのようなイルミネーションや、花火を実施しては。

答 花火は打ち上げ場所、イルミネーションは屋外照明との兼ね合い等が課題。実現可能性を十分に吟味しつつ、検討していく。

問 ④観光資源の掘り起こしを行い、看板の新設・

修繕や、フォトコンテストの撮影場所を地図にポイントとして現地へ訪れる誘導導線を展開しては。

答 昨年、主基斎田までの案内看板を設置した。景観等に配慮して検討する。フォトコンテストは2回で合計21点の応募。私有地や通行困難な場所も含まれ、撮影場所の公開は慎重に検討する。



3月定例会の傍聴風景（3月6日）

町議会を傍聴して



滝宮地区

丸尾 説男さん



菅原地区

塩田 準一さん

日々、目まぐるしく変化する、社会情勢・経済状況、加えて、想定外の災害等、いつ何が起ころうかわからない状況に対し、連日、国会でも様々な審議がなされており、他人事ではなく、自分のこととして、受け止めなければならぬと思っております。

そのような中、先日、綾川町議会定例会の2度目の傍聴をいたしました。

私達の生活をより良いものにしようと、議員や執行部の皆様が真摯に議会に挑まれる姿が印象的でした。

農業用ため池、女子サッカー、新型肺炎、道の駅滝宮うどん会館、滝宮の念仏踊り等々。身近な問題から将来の課題まで、議員がそれぞれの見識で質問されており、私達が選んだ議員の取り組み・姿勢・考えを見守るのもまた、選んだ側の役目の一つではないかと改めて感じました。

綾川町合併前の「綾南町史」の緒言に、「人は郷土を愛する。これは人情の自然である」と記されており、この地で生まれ育った子どもたちは、この町の風景や香りを記憶することでしょう。そしてそこそが郷土愛に繋がって行くのではないのでしょうか。大切なのは、次世代のための「受け皿」作りだと思います。いつでも、故郷に帰っておいでと両手を広げられる町づくりこそが、今この時に生きる私たちの責任ではないかと、傍聴しながら改めて感じた次第です。

地元生まれ育ち間もなく70年、日常の出来事に敏感な日々を送っています。社会人としての40年間は、すべて綾川町外での勤めであり、町政には無関心な月日でした。

社会人リタイア後は、地元の問題点・将来計画等町政にも関心が向き、令和元年12月定例議会に初参加、傍聴の際は受付・入場等すべて新鮮で、議場は想像よりコンパクトな感があり、傍聴席との距離も接近しており臨場感が高く厳粛な雰囲気でした。今回の傍聴は3回目、景色に違和感もなく、平常心で議論を拝聴、わが綾川町も人口減・高齢化の真只中にあるよう、一般質問では高齢化対策・若者世代への取り組みが中心事項となり、とりわけ「女子サッカー誘致」「地域医療の拡充」「子育て支援」「スケートパークの整備」等身近な質問・提案があり、将来に向けた町づくりを目的に、積極的な議論を拝聴し心強さを感じた所です。

老若男女を問わず、綾川町がより住み良い町となり、地域的だけでなく中身でも香川県の中心になれるよう期待するものです。

あなたも議会を傍聴してみませんか。

手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入するだけです。

次の定例会は6月の予定です。お気軽におこしください。



編集後記

令和2年3月定例議会を開会、活発な討議が行われ、慎重審議の結果、令和2年度予算が成立しました。

例年より早い桜の開花を見ました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため卒業式、入学式等、縮小した形で挙行されました。町民の皆様のご協力の下、早期の終息に向かうように、また、より良い町づくりを目指し、議員一同、懸命に努めております。

正確な情報を皆様にお伝えし、議会のご理解をいただくように議会だよりの発行をしております。今後とも、一層のご愛読を宜しくお願いいたします。

議会広報編集委員会

委員長	安藤 利光
副委員長	西村 宣之
委員	三好 東曜
委員	松内 広平
委員	十河 茂広
委員	植田 誠司
委員	三好 重徳
委員	井上 博道